

食用ばれいし新品種「キタアカリ」「エゾアカリ」

誌名	農業技術
ISSN	03888479
巻/号	4210
掲載ページ	p. 460-461
発行年月	1987年10月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波事務所
Tsukuba Office, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council Secretariat



研究 通 報

食用ばれいしょ新品種「キタアカリ」「エゾアカリ」

西 部 幸 男

はじめに

昭和47年にわが国で最初のジャガイモシストセンチュウが後志支庁管内の真狩村で発見された。その後、昭和52年には最初の発生地から遠く離れた道東の斜里郡清里町、昭和55年には胆振支庁管内でも発生が認められ、その発生面積は4,000haに及んでいる。ジャガイモシストセンチュウは薬剤防除が困難で、これの防除には抵抗性品種を柱とした総合防除が不可欠とされている。

北海道農業試験場では、ジャガイモシストセンチュウ発生と同時に抵抗性品種の育成に着手し、昭和61年に国内では最初の抵抗性品種「トヨアカリ」(澱粉原料用)を育成したのに続いて、今年度生食用の抵抗性品種「キタアカリ」及び「エゾアカリ」を育成した。

キタアカリ (ばれいしょ農林29号)

来歴 「キタアカリ」は、昭和50年にジャガイモシストセンチュウ抵抗性の早生食用品種の育成を目標に、「男爵薯」を母、抵抗性遺

伝子 H₁ を単式にもつ「ツニカ」を父として交配した組合せから選抜したものである。昭和51年実生個体選抜試験において、ペアー塊茎法でジャガイモシストセンチュウ抵抗性個体を選抜し、昭和52年

第2次個体選抜試験、昭和53年系統選抜試験において、熟性、澱粉価、塊茎の大きさなど形態的特性及び塊茎品質に関する特性の選抜を行った。昭和54年より生産力検定試験に供試して、生産力、調理特性などを検討するとともに、昭和55年より系統適応性検定試験、特性検定試験。昭和56年より「北海道63号」の系統名を付して北海道にお

ける奨励品種決定調査において、収量性、病害虫抵抗性など実用形質について検討を続けてきた。その結果、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性の早生食用品種として優れた特性をもつことが認められ、昭和62年に「ばれいしょ農林29号」、「トヨアカリ」と命名登録されるとともに北海道の奨励品種に採用された。

特性の概要 「キタアカリ」は茎葉枯凋期が「男爵薯」とほぼ同じで早生種に属する。

茎長は「男爵薯」よりやや長く、「農林1号」より短い両品種の間である。株当り茎数は中、分枝数は少ない。草型は「男爵薯」に似て中間である。葉色は出芽時には紫色を帯びるが、生育が進むと緑色となる。葉色は「男爵薯」よりやや淡い。葉の大きさはやや大に属し、「男爵薯」よりやや小さく、葉の形も「男爵薯」よりやや細いが、「農林1号」より幅広で大きい。茎は緑で赤紫色の斑点がある。花は赤紫色で、花卉の先端が白い。

第1表 生育及び収量調査成績

品 種 名	萌芽期 月 日	開花期 月 日	枯凋期 月 日	茎長 cm	上いも 数 個/株	上いも 平均1 個重 g	上いも 重 kg/10a	標準比 %	中以上 いも重 kg/10a	標準比 %	澱粉価 %
キタアカリ	6. 1	7. 9	9. 3	46	10.1	91	3,155	112	2,714	110	17.1
エゾアカリ	5.31	7.12	9. 5	46	11.1	95	3,588	128	3,153	128	15.9
男爵薯	6. 3	7. 9	9. 1	38	8.8	94	2,810	100	2,463	100	16.1
ワセシロ	6. 1	7. 7	8.27	46	6.1	138	2,831	101	2,718	110	16.2
マークイン	6. 1	7. 8	9. 8	47	11.0	88	3,284	117	2,772	113	15.8
農林1号	6. 1	7. 8	9.27	56	8.3	129	3,560	127	3,373	137	17.4

注) 昭和55~61年の平均(北海道農試)

第2表 ジャガイモシストセンチュウ発生圃場における成績

品 種 名	枯凋期 月 日	茎長 cm	上いも 平均1 個重 g	上いも 重 kg/10a	標準比 %	澱粉価 %	シスト 寄生 指数	健全卵数割合 植付前/収穫後
キタアカリ	9. 3	51	87	2,999	110	14.9	0	25
エゾアカリ	9. 5	55	85	3,314	121	14.6	0	24
男爵薯	9. 2	47	88	2,728	100	14.5	69.3	291
ツニカ	9.20	71	85	3,008	110	16.9	0	—

注) 1. 試験場所 虻田郡真狩村字泉
2. 昭和58~60年の3カ年平均

Sachio NISHIBE: New Potato Cultivars for Culinary "Kitaakari" and "Ezoakari". 農業技術42 (10), 1987.

花の大きさ、数ともに中で稀に自然結果する。花器の形態は「男爵薯」に似て識別は困難である。

塊茎の形は扁球形で、皮色は白黄色で目の部分に赤紫の着色がある。目の深さは「男爵薯」より浅く、中程度、塊茎の大きさは「男爵薯」並。肉色は生、水煮とも黄である。水煮塊茎の肉質はやや粉質で、煮くずれの程度は「男爵薯」並の中で、舌ざわりはやや滑、水煮黒変を生じない点がこの品種の他と異なる特徴で、サラダ、缶スープなどに適する。

茎葉の初期生育は「男爵薯」並で良。株当たりいも数や多く、塊茎の初期肥大、澱粉価の上昇は「男爵薯」に比べてやや遅いが、枯凋期ではほぼ同じ大きさとなり、澱粉価は1%程度高く、いも収量は10%程度多収である。

病害虫に対する抵抗性は、ジャガイモシストセンチュウに対して抵抗性であるほかは「男爵薯」、「メークイン」並で、疫病に対しても弱い。ジャガイモシストセンチュウ発生圃場でも「男爵薯」より10%程度多収で、本品種を栽培することで土壤中の線虫密度を約75%低下させることができる。従って本品種の栽培によって、線虫発生圃場における線虫密度を低下させるばかりでなく、未発生圃場での栽培は、今後の線虫の伝搬、被害発生を未然に防止する効果がある。

栽培上の注意 ①施肥量、栽植密度などの栽培管理は「男爵薯」に準じてよい。②疫病抵抗性、塊茎腐敗抵抗性は「男爵薯」同様劣るので、疫病防除に留意すること。③排水不良地では生育末期の大雨で塊茎腐敗の多発を招く恐れがある。

エゾアカリ (ばれいしょ農林30号)

来歴：昭和50年にジャガイモシストセンチュウ抵抗性遺伝子 H₁ をもつ「ツニカ」を母、1953年にソ連で育成された食用の極早生品種「Priekulskii Ranny」を父とし

て交配した組合せから選抜した。旧系統名「北海66号」。選抜経過は「キタアカリ」に同じである。昭和62年「ばれいしょ農林30号」、「エゾアカリ」として命名登録されるとともに、北海道で食用の奨励品種に採用された。

特性の概要：茎葉枯凋期は「男爵薯」より3~5日遅い早生種に属する。草型はやや開張で、茎長は「男爵薯」よりやや長い。茎は緑色でやや細い。分枝数は少ないが茎数はやや多い。葉の形、大きさとも「男爵薯」に似るが、葉色は出芽時より淡緑で、開花期以降においても葉色がやや淡い。花色は白で大きさも中であるが、開花前の落蕾が多く、開花数は少ない。

塊茎は球形で皮色は白黄色。表皮はやや粗。目は「男爵薯」より浅く、「メークイン」より深い中である。肉色は淡黄で「キタアカリ」より淡い。大きさは「男爵薯」並。水煮塊茎の肉質は粘質で、煮くずれが極めて少ない特徴があり、おでんなど煮物用に適する。水煮黒変の程度は「男爵薯」並で、食味は中の上で「男爵薯」並。

出芽、初期生育ともに早い。塊茎の肥大速度は「男爵薯」並。澱粉価は、肥大初期には「男爵薯」より低いが、茎葉枯凋期には「男爵薯」並となる。株当たりいも数の多い個数型の品種で、いも収量は「男爵薯」より30%近く多収の品種である。

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性は、抵抗性遺伝子 H₁ をもち、本品種の栽培による線虫密度低下効果は「キタアカリ」、「ツニカ」同様、1回の栽培によって土壤中の線虫密度を約75%低下させる。疫病抵抗性遺伝子型は r で抵抗性なく、すべてのレースに侵される。疫病圃場抵抗性は「男爵薯」程度で弱である。塊茎腐敗抵抗性は「男爵薯」より強く、「農林1号」並の中である。軟腐病抵抗性は中、青枯病抵抗性は弱であるが、粉状そうか病抵抗性は強に属する。塊茎の中心空洞、褐色心腐の発生は認められていない。

栽培上の注意 ①施肥量、栽植密度などの栽培管理は、「男爵薯」などの食用品種に準ずる。いも数型の品種で株当たりいも数が多いので、密植は大きさ中以下のいも重割合を増加させ、経済収量の増加にならないので、10a 当り3,500~4,000株の栽植密度とする。②茎がやや細く、開張型で生育後期に倒伏しやすいので、茎葉の軟腐病発生地帯では軟腐病の防除が必要である。③疫病抵抗性は「男爵薯」並の弱で、防除が必要である。④萌芽が早いので、種いもは施設貯蔵が望ましい。

育成従事者：西部幸男・入倉幸雄・奥山善直・梅村芳樹・坂口 進・気賀沢和男・稲垣春郎・森 元幸・佐藤正人・内沢 啓

(北海道農業試験場作物第一部畑作物第2研究室長)

第3表 特性検定試験成績

形 質	キ タ ア カ リ	エ ゾ ア カ リ	男 爵 薯	メ ー ク イ ン	農 林 1 号
ジャガイモシストセンチュウ抵抗性	H ₁	H ₁	h	h	h
疫病抵抗性遺伝子型	r	r	r	r	r
疫病圃場抵抗性	弱	弱	弱	弱	中
塊茎腐敗抵抗性	やや弱	中	弱	弱	中
軟腐病抵抗性	中	中	中	中	中
粉状そうか病抵抗性	やや弱	強	やや弱	中	やや強
青枯病抵抗性	弱	弱	弱	弱	強
調 理 特 性	肉 色	黄	黄白	白	白黄
	肉 質	やや粉	粘	やや粉	やや粘
	煮くずれ程度	中	微	中	少
食 味	舌ざわり	やや滑	やや滑	やや滑	滑
	水煮黒変	無	少	少	微
	中上	中上	中上	中	中